

豊南小学校・校長室だより (児童数配布)

令和3年(2021年)4月30日

発行 中森啓之

何気ない行動にその人の人間性が…。(その2)

前号で、ある先生の人間性あふれる行動について紹介しました。その話の続きです。

今回はエンジェルスの大谷翔平選手を取り上げます。ご存知の通り、大谷選手は投手として160キロ超のボールを投げ、バッターとしてもホームランを連発します。こんな離れ業、誰も真似できません。しかし、特筆すべきは、その人間性も素晴らしいということです。誰もやったことがないことをやっているのに、偉そうにしないところ。また、相手を蹴落とすことは考えず、自分の向上だけを目指す姿勢。また、様々な場面で、人のよさが伝わるエピソードを聞きます。野球の技術だけではなく、そんな人間性も含めて、チームメイトやファンから愛されているのです。ここで私が言いたいのは、160キロのボールを投げることやホームランを打つことは、生まれ持ったの才能が大きく影響するので、誰もができることではありませんが、その人間性は、本人の気の持ち方次第では真似できますよね、ということです。自分の周りには、素晴らしい人間性を持つ人が、絶対にいるはず。その人を教科書にして、「やれることからやっていきましょう。」なのです。みんな人間ですから、いっぺんに変わることは難しいです。でも、あきらめたら何もできません。少しずつでいいです。そうすれば、「ちりも積もれば山となる」で、10年、20年後には大きく変わっているはず。私も、この仕事をして29年目になりますが、小学生の時には先生たちを悩ませてばかりだった子が、大人になって会ってみると、本当にいい人になっていた、という事例がいくつもあります。人間は変われるのです。その可能性を自分自身で信じて、頑張っていくしかありません。そして、その後押しをするのは大人です。厳しく指摘をすることは大切。しかしその後で、「あなたは変われる。あなたは変われる。」と、ある意味ではしつこく言ってあげることです。そうすれば、今は自信を失っている子も、「もしかしたら自分も良くなれるのでは？」と思ってくれるはず。学校は、どこまでも子どもを応援していこうと思います。厚かましいようですが、保護者の皆様には、その後押しをしていただければ幸いです。よろしくお申し上げます。

◇感染対策をしっかりと！！

新型コロナウイルスの感染がまだまだ続いている状況で、まず全員が行っていることがマスク着用です。子どもたちが学校にいる間、体育の授業などで呼吸が苦しくなる時以外は、ずっとマスクをつけています。ところが最近、ある保護者から次のようなお声をいただきました。「子どもたちが公園で遊んでいる時、マスクを外すこともあって、少し心配している。」と。確かにそうでしょう。文部科学省も、「マスクを着用することにより熱中症等の危険性がある場合は、マスクを外すことも可」としていますが、今は可能な限りはマスクを着用しておいた方がいいでしょう。各ご家庭でのお声がけを、よろしく